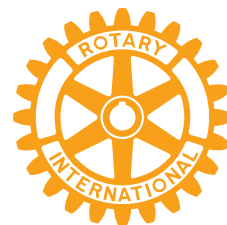


2020-2021年度 Vol.06

ガバナー月信

12月号

Rotary



Rotary International District 2570
GOVERNOR's Monthly Letter
Vol.6 December 2020



《ひとすじの雪》



Rotary Opens Opportunities

疾病予防と治療月間

- ・医療が行き届いていない地域で低費用の医療を提供する支援
- ・伝染病の予防方法を教える保険教育プログラムへの支援
- ・保険従事者への継続的な教育や研修への支援

※疾病予防と治療はロータリーが行う人道的奉仕の6つの重点分野の一つです。



2020-2021年度

地区大会報告

2020年

11月3日 火

会場:ウエスタ川越大ホール

Report



地区大会を終えて

前日の午後より降っていた雨が、11月3日の明け方には上がり、先ずはお天気に感謝して地区大会当日を迎えた。空は薄曇り。いつものように早朝散歩をして一日が始まる。

前夜は遅くまで、会場のウエスタ川越で打ち合わせ。座席・照明・音響・人の移動・食事・放映・プログラム・パンフレット・記録・駐車場・消毒・医務室・入退場などなど、すべき事があまりにも多いので少々不安になるが、もう、まな板の鯉の心境。

翌日の本番に備えて私は21時過ぎに引き上げたが、司会担当の野溝さんと小田さんは居残って、前の日に続いて何度も何度もマイクを持って、練習・確認をしていた。映像を担当してくださった、本庄RCの金井さんは、徹夜だそうだ。

地区大会は年度の最重要プログラムのひとつである。その目的は、「クラブ会員がロータリーの最新情報や地区内の活動について学び、他のクラブのロータリアンと交流する事」である。

そして、以下のプログラムが推奨されている。

①RI会長代理の訪問

国際ロータリーの最新情報を伝え、会員を鼓舞する

②地区案件の討議と投票

③地区会員が関心を持つような主題の講演

④交流・ネットワーキングの時間、奉仕活動やリーダーシップに関する情報の提供

3月～4月ごろ、COVID-19の感染恐怖で社会が変わり始め、特に緊急事態宣言や志村けんさんの逝去は我々に衝撃を与え、ロータリーどころじゃない、なんていう声も広がり始めた。例会の中止、地区大会・世界大会の中止、オリンピックの中止など、ほとんどの行事が中止または延期が当たり前の風潮になってきた。そして全国の同期のガバナーは、ほとんどの方が地区大会を来春以降に延期された。

11月の初めに予定していた、当地区もどうすべきか？本当に悩んだ。万が一クラスターにでもなれば、一世代の禍根。ガバナーとしての責任はおろか主催の川越RCの顔にも泥を塗る。



そんな時、当地区の重鎮である加藤玄静PGの忠告があった。「相原さん、まだ半年先だから今から決める事はないよ。まずはやる方向で考えて準備しておいて、間際になってダメだったら中止すればいい。是々非々で考えなさい。」

私の腹は決まった。「まずはやる！」という方向で進む事にした。

5月に入り、感染は幾分減速してきたものの、ウイルスからの健康ダメージよりも、あらゆる自粛・制限により、経済のダメージが顕著になってきた。地域のリーダーと称される我々ロータリアンは経営者や専門職の集合であり、このコロナによる自粛や制限は、計り知れない経済のダメージを我々にもたらした。健全な職業あつてのロータリーである。この事実は相当の退会者を招くのではないかと公式訪問はできないかもしれない？多くの不安がガバナーの頭をよぎり始めた。

RIは極めて常識的に、「会員と人々の安心と安全を最優先する事」をお題目に挙げ、全てがオンラインによる方法を推奨した。

私も立場上、今までまったく未知であったZOOMによ

る方法を真っ先に取り入れ、ガバナー補佐会議や地区委員長会議などをオンラインで始めた。確かに便利である。覚えてしまえば非常に簡単でもあった。何回もやった。しかし同時に、オンラインでは限界があることも感じた。一番大事な空気感が伝わらないのである。

そうこうしているうちに7月に入り、いよいよ公式訪問が始まった。各クラブの例会は埼玉の北と南ではコロナに対し相当の温度差があった。南の方の第2G 第3Gは例会場も確保できない状態で、ガバナー補佐である勝瀬さんと西澤さんは相当ご苦労されたようである。7月8月9月とコロナ禍にありながらも公式訪問は各クラブの実情に合わせて粛々と行われた。ガバナーに対し、全てのクラブが誠心誠意、歓待していただき恐縮の極み。と同時に、大きなダメージにも拘わらず、ほとんどロータリアンがそのまま会員でいてくれて、このことこそロータリーの魅力故であると確認したのである。

地区にはロータリーを愛し、例会を楽しみにしているロータリアンが沢山おられた。例会が無くてもロータリアン同士いつも一緒。会員は殆どの人が熱い思いを持っていた。地区大会を期待している無言の空気もなんとなく感じた。

Report

地区大会報告



田中R | 会長代理を出迎える相原ガバナー



閉会挨拶をする相原ガバナー



田中R | 会長代理



山口泰明議員



司会者：野溝会員、小田会員



地区大会会場



そして10月に入り、Go To トラベルや自粛・制限の解除。世間はコロナと共存しなければならない、社会は大きなイベントをしても許容する、といった環境の変化・new normalが明らかに訪れたのである。知事も市長も応援して下さい。

「時は今、初雁集う、地区大会」

私の意思は固まった。川越市の感染予防ガイドラインを順守し、必要な事以外は出来る限り短縮。ベクトルは定まった。

川越ロータリークラブを中心とした実行委員会は忙しくなった。何となく他人事みたいな感じで、全く動きのなかった委員会が一斉に動き出したのである。地区幹事の坂口さんも猛烈に檄を飛ばした。実行委員長の小高さんは、建設会社の社長だが、仕事どころじゃなかったであろう。突然のハプニングが襲う。なんとメインの行事である講演者、三浦雄一郎氏の来場にドクターストップがかかってしまったのである。今更交代は出来ない。そこで北海道の病院とウエスタ川越をオンラインで繋ぎ、ご子息の三浦豪太さんとのリモートによる対談方式に変えた。知事や市長の入場をはじめ、重要なシナリオと音楽は大会会長の立原P Gが、全てアレンジしてくれた。各支店長をはじめ、蓼沼さん、野溝さん、吉澤さん、石井さん、八木さん、斎藤さん、その他大勢の人が頑張ってくれたのである。

3日の朝を迎えた。

「おはようございます。」当日は8時に集合だったが7時半には殆どの実行委員が会場に集合していた。入口に設定した2台の赤外線自動体温測定器、私の体温は36.2度を表示していた。平熱。そして全員がまとっていたお揃いの川越RCの紫の襟が、目に沁みる。9時半には各種委員会がはじまり受付を開始。10時30分に本会議が始まった。

会場入口前のホワイエには来賓や各グループ別の長い受付。オクトンの売り場・米山記念奨学生の募金活動・財団の寄付集め、毎度御馴染みの光景だが、みんな何故か頼もしく見える。ガヤガヤして賑やか、全員がマスクをしている事を除いて、全くいつもと同様だ。「おはようございます。今日はありがとうございます。」私はできる限りの会員に挨拶をした。

午前中の本会議が終わり、13時よりいよいよ式典が始まった。壇上から客席を見渡すと、相当な人数が来ていた。約560人。公式訪問の御蔭で知っている顔が多い。中央の奥から一直線に照らされているライトが眩しい。国歌斉唱はオペラ歌手であり、星野高等学校の先生である佐々木憲二さんに独唱をお願いした。迫力満点。

「威風堂々」の曲にのせてRI会長代理の田中久夫様ご夫妻が登場するときには、流石に胸が熱くなった。エイド役の細井P Gご夫妻も一緒に登壇し、皆さんにご挨拶。ガバナー挨拶は、何度も練習したが、やはりドジってしまった。知事・市長の挨拶。RI会長代理の講義。三浦



雄一郎氏の講演。クラブ紹介。衛星クラブのご披露・各表彰。などなど、全てのプログラムが思いの外順調に進んでいく。若干の遅れとミスはあったが許容範囲内であったと思う。

そしてRI会長代理による大会所感とガバナーの謝辞、そして点鐘。

地区大会は終わった。

多くの方々より「いい地区大会だったね。」と褒められた。またリモートで実況中継を観ていた地区外の仲間からも、非常に評価された。素直に嬉しい。

特に式典第2部の各クラブの会長によるクラブ紹介の評判が良かった。やはりロータリーは何と言ってもクラブが主役だ。

今更のように、ロータリーは不思議な力を持つと思う。実行委員の皆さんは地元の経営者であり、大手企業の支店長である。みな夫々に、部下をもち、指示を担う立場の人たちである。それが、全員黒子になり縁の下の仕事を黙々と一生懸命にやってくれた。本当に恐縮する。もともと優れた能力のある人ばかりなので、夫々の力が結集されれば、さらに強い力を生む。いろいろな心配事があったが、全てクリアした。正に初雁が集ってくれたのである。(注：雁は川越市のシンボル鳥、秋に北の空から集まってくる)

打ち上げは大いに盛り上がった。

実行委員全員に、新しい友情が芽生えた。それまで、

例会でもあまり話した事もなかった会員同士の距離が一気に縮まり、地区大会をなんとかやり終えた達成感から、親近感と共通の連帯感が生まれた。地区大会でかいた汗は決して忘れないだろう。

第2570地区の皆様、地区大会の経緯を私の感想を含み、報告させて頂きました。

2日分を一日に短縮した為、至らなかった点多々あると思いますが、推奨されているプログラムは、ほぼ網羅できたと思います。ご協力本当にありがとうございました。

コロナもまだまだ予断を許しません、しばらくは共存しなければなりません。これからロータリーは、新しい道を歩んでいくこととなりますが、不変のものは、奉仕の理想と友情です。

新しい扉を開き、地区内外の多くのロータリアン同士が知り合い、友情を深め、人生がますます豊かになる事を心より願っております。

2020~21年度 国際ロータリー
第2570地区ガバナー

相原茂吉

Report

ガバナー公式訪問



ガバナー公式訪問



相原ガバナーの公式訪問が開始されました。公式訪問を通じて、R I 第2570地区の全員の皆様とお会いできることを、相原ガバナーはどんなに楽しみにしていたことでしょう。

今期地区テーマはLet's make Fellows!「友達を作ろう!」です。このテーマの第一歩がガバナー公式訪問なのです。皆様、ぜひ相原ガバナーとの出会いを楽しみましょう!

10/14
(水)

熊谷東 R.C. + 熊谷南 R.C. + 熊谷西 R.C. + 熊谷籠原 R.C.

会長 武藤 正
幹事 野村泰豪

会長 井上哲孝
幹事 長谷川 信

会長 小澤正道
幹事 小栗克明

会長 大木光二
幹事 浅見健司

相原ガバナー、田代ガバナー補佐、高橋地区副幹事の3名をお迎えして、キングアンバサダーホテル熊谷にて4クラブ合同ガバナー公式訪問例会が行われました。

相原ガバナーが体調をくずされたと同じ心配しておりましたが、当日はお元気そうなお姿を拝見でき安心いたしました。

例会に先立ち、3年末満の新入会員11名

との対話の中では、一人ひとり、丁寧に話しかけられ、それぞれの質問にもユーモアを交えながら真摯に答えられていて、ガバナーのお人柄を伺い知ることができました。また「ロータリーバッジを常に身にまとっていれば、より多くの新しい出会いが生まれる」というお言葉には非常に重みを感じました。

続く例会の卓話では、ご自身のロータリア

ンになるまでの葛藤やガバナーエレクト研修体験談、また、その後、鑑賞したDVDの中での敬虔なロータリアンであったお父様への思いなど短い時間の中でもロータリークラブへの熱い思いが十分に伝わりました。

私たち会員一同もさらなる機会の扉を開く活動に向け、尽力を施したいという意欲が生まれた貴重な時間でした。



10/19
(月)

本庄南 R.C. 会長 日向秀一 幹事 望月雄太

参加者は、国際ロータリー第2570地区 相原茂吉ガバナー、随行者として坂口孝地区幹事、和田尚也地区副幹事、高橋哲彦地区副幹事、新島修一ガバナー補佐、児玉RCと本庄南RCそれぞれの会長・幹事・会員です。

お客様として、国際ロータリー第2750地区高田修直前ガバナー補佐(世田谷RC)、国際ロータリー第2570地区矢島淳一第4グループ元ガバナー補佐(本庄RC)にお越し頂きました。公式訪問例会の卓話をお聞き

し、奉仕活動を通じたロータリアン同士の絆を育む事の素晴らしさを感じました。本庄南RCのパスポートクラブ化についても応援頂き、RIが目指す組織作りを進める上での自信を持つことが出来ました。



10/20
(火)

行田さくら R.C. 会長 長谷川 博 幹事 鈴木敬一郎

10月20日のガバナー公式訪問では、相原茂吉ガバナーより多くのご教示をいただくことができました。公式訪問に先立って先週の例会では相原ガバナーの思いが凝縮されたDVDを拝見することができました。

そこでは画家でありバスターガバナーでもあった父求一郎氏との思い出や、どうして自分がロータリアンになったのか、心の深いところでの琴線に触れることができました。このことがあって今回の公式訪問では相原ガバナーにロータリアンとして親しみをもって接することができました。また相原ガバナーが講話の中で語った多くの教訓やロータリアンの絆やロータリアンの矜持についても会員一同感銘を受けたことは言うまでもありません。

例会後のクラブ協議会では主に「リーダー

シップ」「クラブの長所・短所」について、パネルディスカッション方式で討議が進み、活発な意見が提案され改めてロータリアン

としての自覚を深めるきっかけを作っていただくことができました。相原茂吉ガバナーのご指導に感謝申し上げます。

10/28
(水)

加須 R.C. 会長 柿崎 一郎 幹事 黒巣 泰明

相原ガバナー、田代ガバナー補佐、地区副幹事の和田尚也様、高橋哲彦様をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

初めに、入会3年未満の4人の会員と相原ガバナーとの懇談がガバナーの人柄から醸し出される和やかな雰囲気の中でおこなわれました。

4人の会員にはロータリーの理解を深める大変有意義な時間を持てたかと思われまます。例会でのガバナー卓話ではコロナ感染症のため新年度開始が非常に心配されたことから始まり「let's make fellows!」等について、大変熱意をこめて解説的に話をされ、我々会員にとり大変教育的な素晴らしい卓話でした。

クラブ協議会では「クラブの長所と短所」、「ロータリアンの友達を増やすには」のテー

マでパネルディスカッションが活発に行われ、最後にガバナーの講評をいただき公式訪問が終了しました。ガバナーに厚く感謝いたします。

11/10
(火)

皆野・長瀬 R.C. 会長 山田利明 幹事 高田富康 + 秩父 R.C. 会長 太田雅孝 幹事 今泉学之

11月10日(火) 秩父神社参集殿2階の間において、相原ガバナー、新島ガバナー補佐、高橋地区副幹事が来訪され、待ち遠しかったガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち11時より、同会場1階の間において、相原ガバナーを囲んだ入会3年以内の会員8名と昼食会を催し、和やかな雰囲気の中で意見交換をさせて頂きました。



12時30分からは公式訪問例会が開始され、クラブの通常セレモニーをご覧頂いた後に、相原ガバナーから卓話を頂きました。

例会終了後は、全員で写真撮影を行い、ティーブレイクの後にクラブ協議会として、

山田会長(皆野・長瀬RC)・太田会長・原島情報・研修委員長・高畑プログラム委員長より各テーマに沿った提言等をご披露頂き、質疑応答の後、相原ガバナーより講評を頂きました。



ガバナー補佐 特別寄稿

第4グループ ガバナー補佐

深谷ノース

新島修一



今年でロータリー歴31年になります。自分でもよく続けられてこられたなと思っています。振り返ってみますと、ロータリーで、いい仲間ができて、いい友達ができて楽しかったお陰だと思っています。

今年度の相原ガバナーのテーマ「Let's make fellows」＝「友達を作ろう」は、私のロータリーの楽しみ方を代弁してくれているようで、心より拍手をお送りいたします。

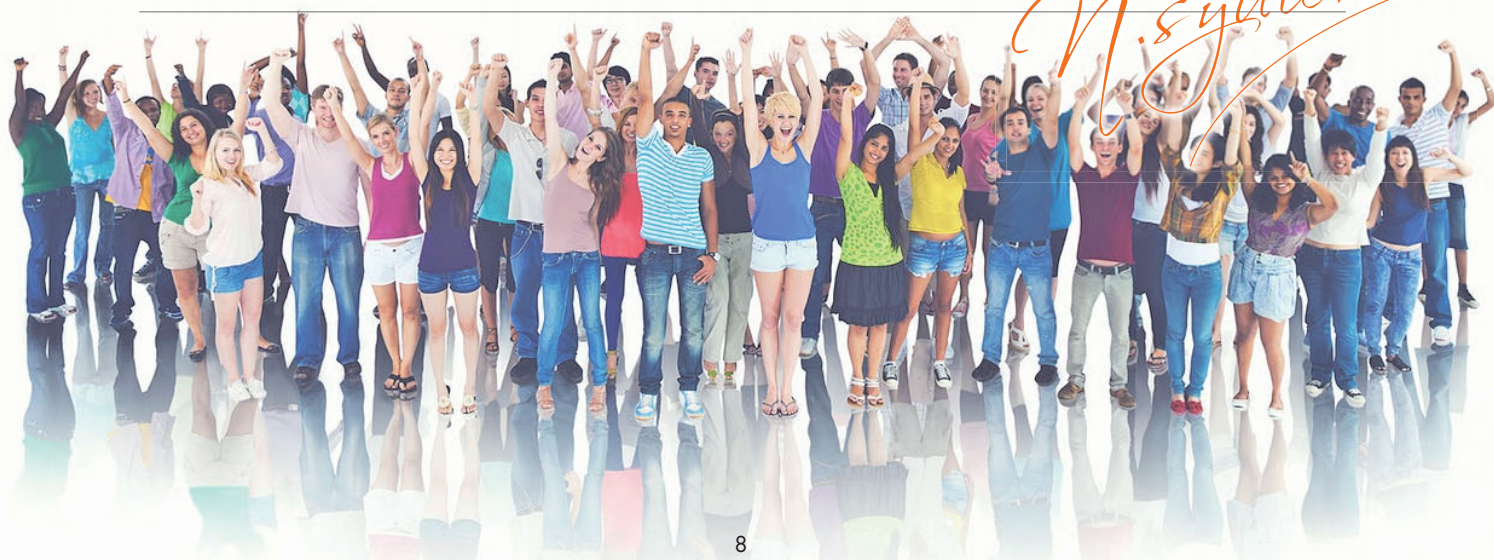
31年の間にどのくらいのロータリアンに会ってきたかなと思って名刺を数えてみました。国内ロータリアン1,300枚、海外ロータリアン1,300枚、合計2,600枚でした。

私はロータリーの中で友達を増やして、ロータリーを楽しむのに、大きなポイントが2つあると思います。1つ目のポイントは、自分から相手に近づいて声をかけることです。自分のほうから心を開いて、相手を包むような感じで、私はあなたのことが好きなんですよ、という気持ちを相手に伝えることが大事です。最初ヤナヤツかなと思っていた人が、自分から声を掛けたらイヤツだったという経験を何回もしています。

いい友達を作ってロータリーを楽しむ、2つ目のポイントは、海外にいい友達を持つことです。海外のロータリアンにはスーパーリッチのメンバーがいたり、その国を動かすような大物メンバーがいます。今までの自分の世界では、知り得ないような人とも友達になれます。それがロータリーの醍醐味だと思います。フィリピンの友達とはもう26年、タイの友達とは18年、ロータリーを通じて付き合っています。そこで重要なポイントが1つあります。英語を話せるか？という点です。私は姉妹クラブができてから英会話を独学で勉強して、英語を少し話せるようになりました。少しの英会話で友達の輪は大きく広がります。自分に自信が持てるようになり、世界が大きく広がります。

最後に、私がロータリーライフの中で一番の財産となった方との出会いを紹介させていただきます。10年前に知り合った川越RCの、今年96歳の今泉清詞さんです。今泉さんのミャンマーに対する恩返し生き方に深く感銘を受け、お会いする度に自分の心が浄化されていくような崇高な気持ちを受け取ります。こんな素晴らしい人との出会いも、ロータリーに入っていたから自分の財産になったと感謝しています。

N. Syuichi



Report

表彰

Award




- PHP** ポール・ハリス・フェロー
- MPHP** マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- PHS** ポール・ハリス・ソサエティ
- MD** メジャードナー
- BF** ベネファクター
- 米山** 米山功労者
- 米山M** 米山功労者マルチプル
- 米山MD** 米山功労者メジャードナー




PHP
飯能
大崎 光二




MPHP
飯能
和泉 由起夫




MD
秩父
星野 進



MPHP ×2
狭山中央
柴田 譲



MPHP ×2
狭山中央
清水 武信



MPHP
狭山中央
若松 泰誼



米山 ×2
新所沢
幸森 康夫



米山 ×4
新所沢
江崎 浩史



米山 ×10
新所沢
長沢 友雄



米山
新所沢
粕谷 直貴

◆クラブ名変更のお知らせ◆

【承認：11月4日（水）】

本庄南ロータリークラブ



新

2570 パスポートクラブ

【活動地域：全世界】



New Comer

新会員紹介

New Member Introduction

新 会 員 紹 介

New Member Introduction

地区テーマ

友達をつくろう!

Let's make fellows!



行田

氏名	小川 忠喜
入会年月日	2020年10月8日
勤務先	行政書士 小川忠喜事務所
役職	行政書士
生年月日	1978年9月4日
紹介者	富田久雄



寄居

氏名	高田 徹
入会年月日	2020年10月14日
勤務先	寄居建設(株)
役職	代表取締役 社長
生年月日	1968年6月23日
紹介者	萩野真仁



川越小江戸アクティブロータリー衛星クラブ メンバー

川越小江戸RC衛星クラブ

氏名	渋谷 真実子
入会年月日	2020年10月9日
勤務先	有渋谷建材
役職	代表取締役副社長
生年月日	1973年11月5日
紹介者	金子貞男



川越小江戸RC衛星クラブ

氏名	杉本 誠二
入会年月日	2020年10月9日
勤務先	一善(株)
役職	代表取締役
生年月日	1971年1月14日
紹介者	山本庄一



川越小江戸RC衛星クラブ

氏名	青木 洋平
入会年月日	2020年10月9日
勤務先	(株)ファインメデイカル
役職	取締役
生年月日	1982年7月4日
紹介者	山本庄一



川越小江戸RC衛星クラブ

氏名	小林 範子
入会年月日	2020年10月9日
勤務先	あけぼのホール
役職	オーナー
生年月日	1961年12月22日
紹介者	岡部みゆき



川越小江戸RC衛星クラブ

氏名	西澤 孝夫
入会年月日	2020年10月9日
勤務先	税理士法人 西澤会計
役職	代表役員
生年月日	1944年7月30日
紹介者	岡部みゆき



川越小江戸RC衛星クラブ

氏名	高野 財地
入会年月日	2020年10月9日
勤務先	(株)アトラス川越
役職	代表取締役
生年月日	1946年2月12日
紹介者	三上泰弘



衛星クラブへ移動会員

川越小江戸RC衛星クラブ

氏名	岡部 逸雄
移動年月日	2020年10月9日
勤務先	有パールジャパン
役職	取締役
生年月日	1955年12月5日
紹介者	山本庄一



川越小江戸RC衛星クラブ

氏名	金子 貞男
移動年月日	2020年10月9日
勤務先	医療法人 至心会 金子歯科医院
役職	理事長
生年月日	1956年1月23日
紹介者	山本庄一





コーディネーター NEWS

2020年12月号

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 庄司尚史 (境港RC)

コロナ禍の中でのロータリーの魅力

2020年は歴史的な1年になりました。東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に4,000万人のインバウンドで国内は賑わはずでした。新型コロナウイルスの出現によって目論見はもろくも崩れました。緊急事態宣言が出るということは誰も予想してなかったことです。「不要・不急」の外出を避ける日常となり、人との距離は「ソーシャルディスタンス」を維持する毎日になりました。

そういう中で、ガバナーの皆さんは、エレクト時代の「PETS」「地区研修協議会」はじめ「公式訪問」「地区大会」などご苦労が絶えない年度になりました。クラブ会長の皆さんは、クラブ例会を中止せざるを得ない未経験の事態で面食らったことでしょう。例会再開は感染対策を実行して行われています。多くのクラブでオンラインを活用し、中にはハイブリッドで実施しているクラブもあり、様々な対応をされています。

私は久しぶりの再会例会に出席した時に抱いた気持ちは「ロータリーはいいな」というものでした。人とのつながりに距離を置いた時期の後、ロータリーの仲間と出会い、語り合う時間を共有することの温もりに嬉しさを感じました。ロータリーの魅力は、人と集うことにより繋がりを持つということ。そこには多様な人々が集まる中、ロータリーの「超我の奉仕」という哲学を共有する安心感があります。ロータリーは「不要・不急」ではなく、「豊かさの存在」と実感しています。

コロナ禍の中でロータリーの魅力を高めるクラブ運営についてご提案したいと思います。

- 例会卓話は、外部講師を呼びにくい中、会員卓話を中心だと思います。是非ご自身のPR（仕事や趣味など）に活用しましょう。
- 親睦活動は、飲食を伴う会合が困難です。アウトドアでのプログラムにしましょう。例えば、ゴルフ、野球、ハイキング、サイクリングなど如何でしょうか？
- 奉仕活動もアウトドアで検討しましょう。青少年奉仕、国際奉仕、社会奉仕それぞれ知恵の出どころだと思います。

「出席なければ親睦なし。親睦なければ奉仕なし」これは青森県のあるロータリークラブのスローガンです。例会が楽しく、親睦で友情が高まれば奉仕活動がより活発になると考えます。コロナに負けず、ロータリーの魅力を高めていき、会員の退会を防ぎ、新入会員を増やし、活力あるクラブにしたいものです。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 山下皓三 (鹿児島西RC)

ロータリーのブランドを強化しよう。

今年7月の第一地域、第二地域、第三地域の合同による公共イメージ向上に関する、地区公共イメージ委員長を対象にしたアンケート調査を実施しました。「地区内のクラブの何%がブランドリソースセンターを利用していると思いますか」の問いに「10%～30%」と回答した地区がほとんどでした。ブランドリソースセンターのツールやテンプレートを使えば、ロータリー全体で一貫性を保ちながら、クラブや地区用にカスタマイズされた資料を作成できます。ロータリーの新しいデザインやイメージを取り入れた資料をつくるには、オンラインの「ブランドリソースセンター」がお勧めです。ブランドリソースセンターを利用するにはまず、My ROTARYへのログイン(初めての方はアカウント作成)が必要です。

多くのクラブや地区がもっと、ブランドリソースセンターを活用することで、最終的には、あらゆる媒体でロータリーの正しいビジュアルアイデンティティを一貫して使用することで、ロータリーの公共イメージやロータリーに対して人々が持つイメージが格段と良くなると思います。

ロータリーでは、2011年からロータリーの認知度を高めるためにブランドの構築に力を注いできました。その結果、ロータリーの認知度は全世界で60%から75%にアップしました。しかし、ロータリーがどんな団体なのか、どんな活動をしているのか、知らない人が多いことが最近の調査で分かりました。

地元でクラブのあることも、世界的なポリオ根絶活動についてもあまり認知されておりません。仲間を増やし、奉仕の輪を広げ、地域や世界により大きな貢献をしていくには、ロータリーの公共イメージを向上させる必要があります。

ロータリーへの理解を深めてもらうために、2017年に「世界を変える行動人」キャンペーンが始まりました。

- ロータリーとは何か
- ロータリアンとはどのような人びとか
- ロータリアンの活動はどのような成果をもたらしているのか
- ロータリーは他団体とどう違うのか

このキャンペーンは、さまざまな形の広告を通じて、「行動人」としてのロータリー会員の姿にスポットを当てるものです。ロータリーのブランドは、ロータリーが「どのような団体か」を表すと同時に、「どのような団体でありたいか」を映し出すものです。ロータリーはさまざまな国や文化、職業のリーダーのネットワークであり、交流を通じてアイデアを広げ、世界中の地域社会で行動をしています。強いブランドがクラブにもたらすメリットには、ロータリーの活動に対する人びとの理解を深めることや、会員、ボランティア、協力団体、寄付者が増えるなど、また、ロータリーの認知度が上がり、会員の意欲が高まる、そして、ロータリーへの参加者の基盤が広がることなどです。ロータリーブランドを強化することは、人びとがクラブやプログラムを通じた経験、またはロータリーについて見たり聞いたりしたことや写真に基づいてロータリーを認識します。ロータリーブランドの強化を支えることは、会員一人ひとりの責務でもあります。即ち、全会員がロータリーブランドの力強い推進者になることです。

「世界を変える行動人」キャンペーンを推進するため、ブランドリソースセンターからのリソースや資料を利用することが、ロータリーのブランドを強化しクラブの活性化へとつながります。

会員数

【2020年10月】

		会員数(人)								
		年 初	10 月 末 現 在	10 月 入 会 数	10 月 退 会 数	本 年 度 入 会 数	本 年 度 退 会 数	10 月 度 純 増 数	本 年 度 純 増 数	女 性 会 員 10 月 末 数
第1グループ (11RC)	川越	95	97	1	1	3	1	0	2	3
	東松山	21	23	0	0	2	0	0	2	0
	小川	8	8	0	0	0	0	0	0	2
	坂戸	31	32	0	0	1	0	0	1	1
	越生毛呂	16	17	0	0	1	0	0	1	1
	川越小江戸	13	13	0	0	0	0	0	0	0
	川越西	19	20	0	0	1	0	0	1	2
	鶴ヶ島	26	26	0	0	0	0	0	0	2
	川越中央	29	29	0	0	0	0	0	0	0
	坂戸さつき	20	20	0	0	0	0	0	0	4
東松山むさし	43	43	0	0	0	0	0	0	6	
小計	321	328	1	1	8	1	0	7	21	

第2グループ (7RC)	朝霞	25	24	0	0	0	1	0	-1	0
	志木	44	44	0	0	0	0	0	0	2
	富士見	40	40	0	0	0	0	0	0	0
	新座	27	27	0	0	0	0	0	0	2
	和光	5	5	0	0	0	0	0	0	2
	朝霞キャロット	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	新座こぶし	8	9	0	0	1	0	0	1	2
	小計	159	159	0	0	1	1	0	0	8

第3グループ (11RC)	入間	37	37	0	0	0	0	0	0	2
	所沢	58	60	0	0	2	0	0	2	4
	飯能	60	69	0	1	10	1	-1	9	1
	新所沢	22	22	0	0	0	0	0	0	2
	日高	16	16	0	0	0	0	0	0	3
	所沢西	30	31	0	0	1	0	0	1	4
	新狭山	16	18	0	0	2	0	0	2	0
	所沢東	42	43	1	1	3	2	0	1	2
	入間南	41	47	0	0	6	0	0	6	0
	所沢中央	21	21	0	0	2	2	0	0	2
	狭山中央	23	23	0	0	0	0	0	0	6
小計	366	387	1	2	26	5	-1	21	26	

第4グループ (11RC)	深谷	57	57	0	0	0	0	0	0	11
	本庄	73	76	0	0	4	1	0	3	5
	秩父	49	49	0	0	0	0	0	0	1
	寄居	27	28	1	1	2	1	0	1	0
	児玉	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	岡部	15	15	0	0	0	0	0	0	1
	深谷東	66	67	1	0	1	0	1	1	0
	川本	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀬	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	本庄南	13	13	0	1	3	3	-1	0	2
深谷ノース	29	29	0	0	0	0	0	0	1	
小計	350	355	2	2	10	5	0	5	21	

第5グループ (10RC)	熊谷	89	90	0	0	1	0	0	1	3
	行田	59	60	1	0	2	1	1	1	5
	羽生	46	46	0	0	0	0	0	0	4
	加須	25	25	0	0	0	0	0	0	1
	熊谷西	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	行田さくら	51	52	0	0	1	0	0	1	2
	熊谷東	26	28	0	0	2	0	0	2	2
	吹上	8	8	0	0	0	0	0	0	2
	熊谷籠原	27	27	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷南	22	22	1	0	1	1	1	0	3
小計	363	368	2	0	7	2	2	5	22	

50RC	男性会員数	1465	1499	6	5	47	13	1	34
	女性会員数	94	98	0	0	5	1	0	4
	合計	1559	1597	6	5	52	14	1	38

【出席率】

この度新型コロナウイルス感染防止の為、各クラブ例会の自粛が行われています。また、2019年の規定審議会により欠席のメークアップが年度内に拡張されました。以上2つの理由により正確な出席率の報告が非常に困難となっております。従いまして、今年度の出席率の月信報告はしばらく、お休みさせていただきます。

スケジュール

【2020年12月・2021年1月】

日程	内容
12月	第2回公共イメージセミナー 東松山市民文化会館
	5日(土) 第1回オリエンテーション 紫雲閣
	戦略計画推進セミナー オンライン
6日(日)	カウンセラー会議 奨学生クリスマス会
	12日(土) 第2回オリエンテーション
1月	3日(日) 選考試験(予定)



【今月の表紙】

《ひとすじの雪》油彩、キャンバス 89.7 X 130.3

1992年 株式会社 AOKI ホールディングス所蔵

遮るもののない大地と広い空。耕された痕跡が幾重の筋となって視界を地平線へと導く。中央の畦に残るひとすじの雪と、大空を自由に飛び一羽の鳥が、広やかな画面を引き締める。晩年の相原は見通しの良い十勝平野を好んで取り上げた。

ガバナー月信 2020-2021年度 Vol.6

2020年12月1日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
ガーデンホテル紫雲閣

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[Web] https://www.rid2570.gr.jp

【月信原稿送信先】 info2020@rid2570.gr.jp

ガバナー月信編集委員会 八木拓也